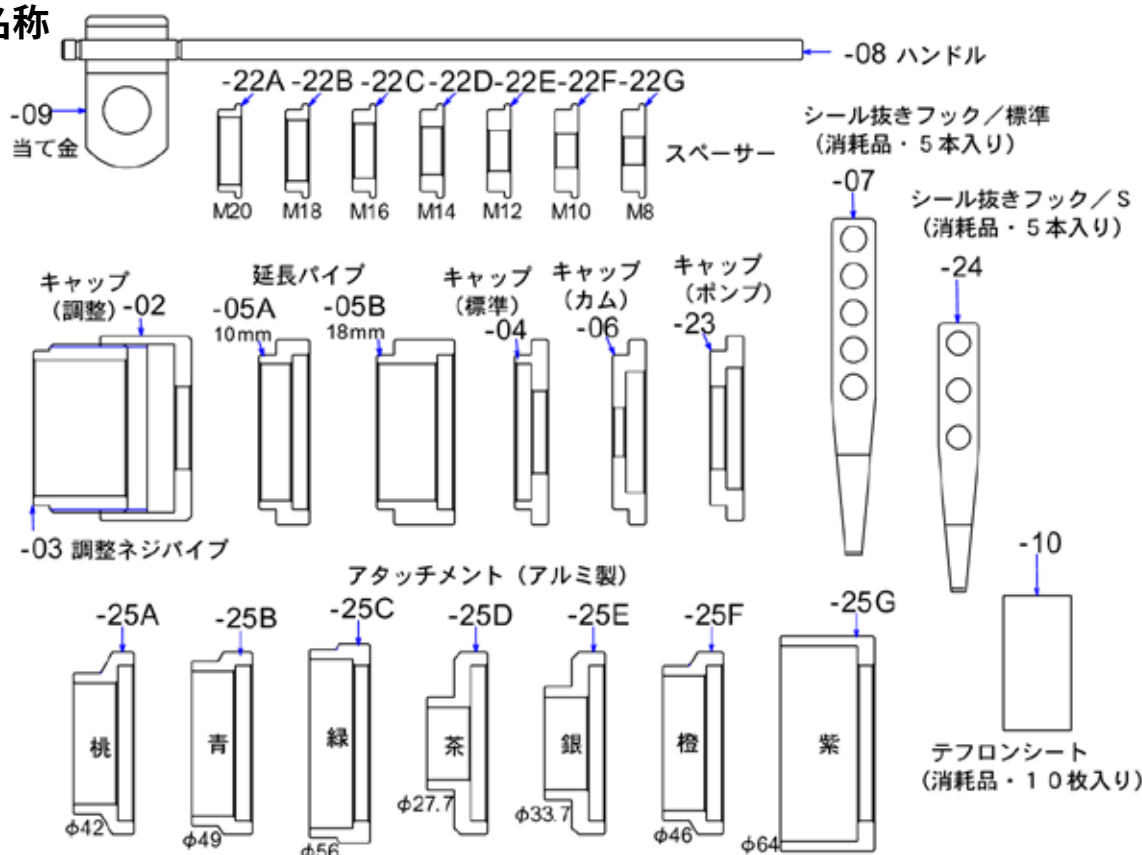


この度は、CP-98CF：クランクシールリプレッサーをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前には内容品の確認と使用時における注意事項を熟読頂き、ご理解の上で使用くださいますようお願い致します。

### 注意事項

- 一部カムシール（三菱 6G など）は、抜け止めミゾ付きシールが使用されており、外側からの抜き取りは不可能です。
- 接着剤や焼き付きなどにより、完全に固着したシールを無理に抜こうとすると、シール抜きフックの爪先端部が折れる場合があります。また折れた先端部がエンジン内部に落ちると、拾い出すことが困難です。このような時は、1ヶ所に無理な力を掛けず、シール内径の色々な場所に、数回ずつテンションを掛け、徐々に浮き上がらせるように作業して下さい。
- 抜き取り作業時は、シャフトに傷を付けないよう、必ずセット内のテフロンシート（消耗品）や、テーピングなどを施し保護して下さい。
- 装着トラブル防止のため、作業時には、アタッチメント先端部に傷がないか確認の上、慎重にセット位置を整え、斜め挿入を起こさないよう十分に注意して下さい。一部カムシールは、装着位置外径に面がなく、ケースを割る構造のものがあります。

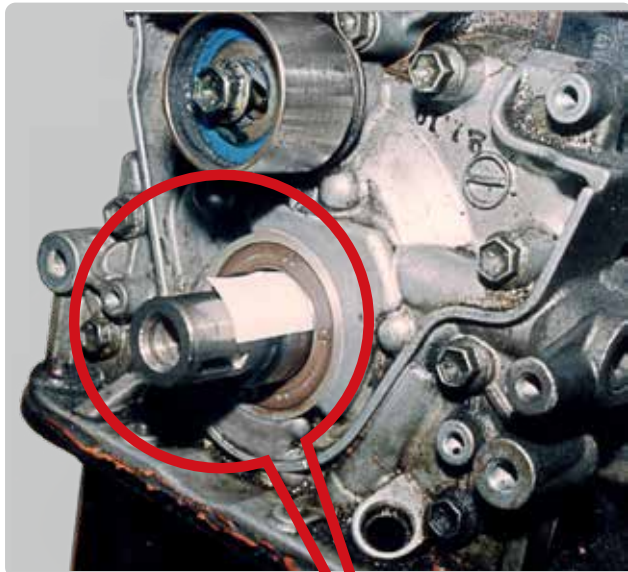
### 内容品・名称



製品型式	品名	要数	備考
CP-98C-02	調整キャップ	1	
CP-98C-03	調整ネジ	1	
CP-98C-04	キャップ (延長)	1	
CP-98C-05A	延長パイプ 10mm	1	
CP-98C-05B	延長パイプ 18mm	1	
CP-98C-06	キャップ (カム用)	1	
CP-98C-07	フック (標準)	1	5枚1袋
CP-98C-08	ハンドル (シャフト)	1	
CP-98C-09	当て金 (支柱)	1	
CP-98C-10	テフロンシート	1	10枚1袋
CP-98C-22A	スペーサー M20	1	
CP-98C-22B	スペーサー M18	1	
CP-98C-22C	スペーサー M16	1	

製品型式	品名	要数	備考
CP-98C-22D	スペーサー M14	1	
CP-98C-22E	スペーサー M12	1	
CP-98C-22F	スペーサー M10	1	CF用
CP-98C-22G	スペーサー M8	1	CF用
CP-98C-23	キャップ (ポンプ用)	1	CF用
CP-98C-24	フック (S)	1	CF用/5枚1袋
CP-98C-25A	アタッチメントA	1	max φ 42 桃
CP-98C-25B	アタッチメントB	1	max φ 49 青
CP-98C-25C	アタッチメントC	1	max φ 56 緑
CP-98C-25D	アタッチメントD	1	CF用/ max φ 27.7 茶
CP-98C-25E	アタッチメントE	1	CF用/ max φ 33.7 銀
CP-98C-25F	アタッチメントF	1	CF用/ max φ 46 橙
CP-98C-25G	アタッチメントG	1	CF用/ max φ 64 紫

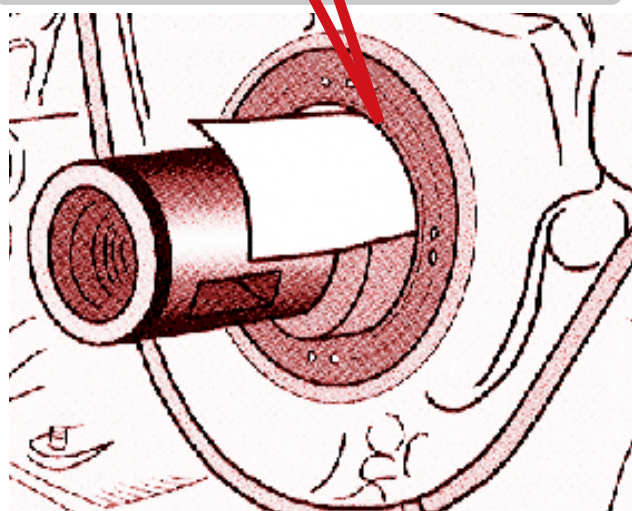
使用方法：抜き取り -1



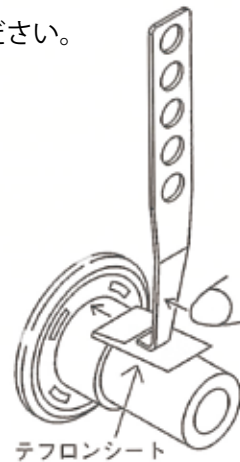
①作業するシール内径リップ部とシャフトの間に、部品番号：CP-98C-10 品名：テフロンシートを差し込みます。

※部品番号：CP-98C-10 品名：テフロンシートは消耗品です。

破れたり、変形した時は補修部品をお買い求めください。



※テフロンシートが入りにくい時は、下記の図の様に、テフロンシートを二つ折りにしてフックで押し込んでください。

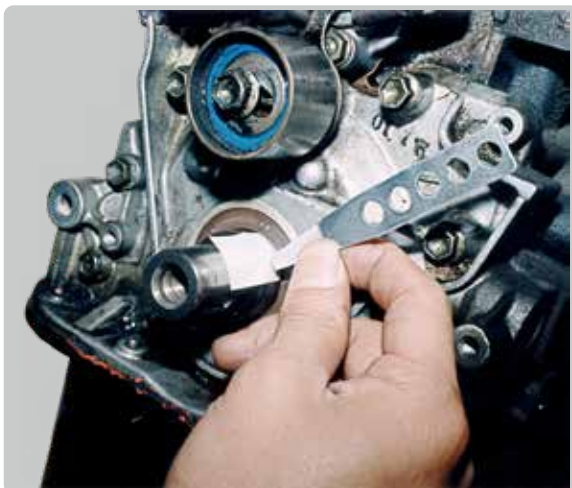


※それでもテフロンシートが入りにくい場合は、シャフト外面をテーピング等で保護しながらドライバー等で隙間を作ってください。

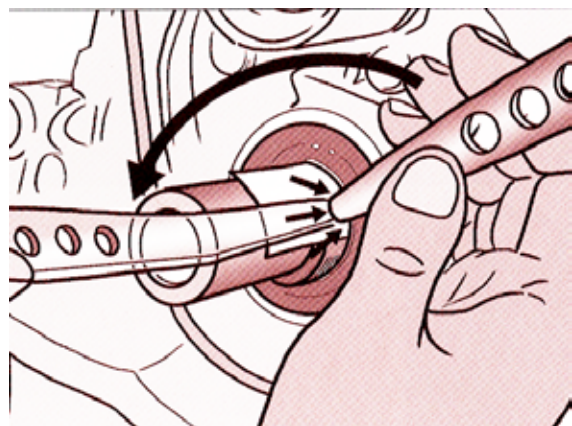
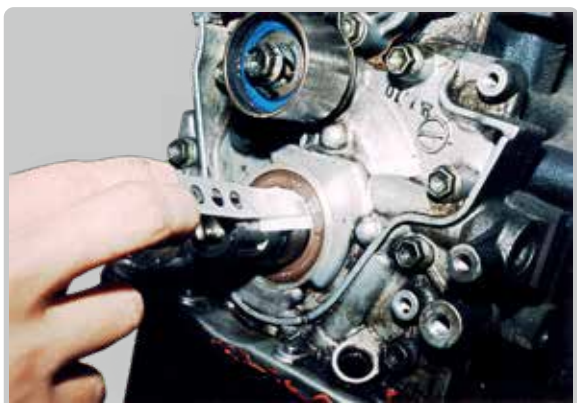
※ドライバー等を使用する際には、シャフトにキズを付けない様、十分に注意してください。



使用方法：抜き取り -2



②



②型式：CP-98C-07 品名：シール抜きフックの先端をテフロンシートとシール内径の間に押し込みます。

※なおクランクシールおよびカムシールには必ず型式：CP-98C-07 品名：シール抜きフックをご使用ください。

型式：CP-98C-24 品名：シール抜きフック (S) は、オイルポンプおよびサイレントシャフトに使用されている外径φ 42以下の小径オイルシール用です。

※間違えて使用しますと工具や部品が破損します。

※作業する車両によってはフックを起こす後方のスペースが無い場合は、左記画像の様にフック後方部をバイスなどにくわえて折ってサイズの調整を行ってご使用ください。

フックを引き上げシール裏面にフック先端の爪を掛けます。

※シール抜きフックは、各種シールに対応させるための汎用設計となっております。

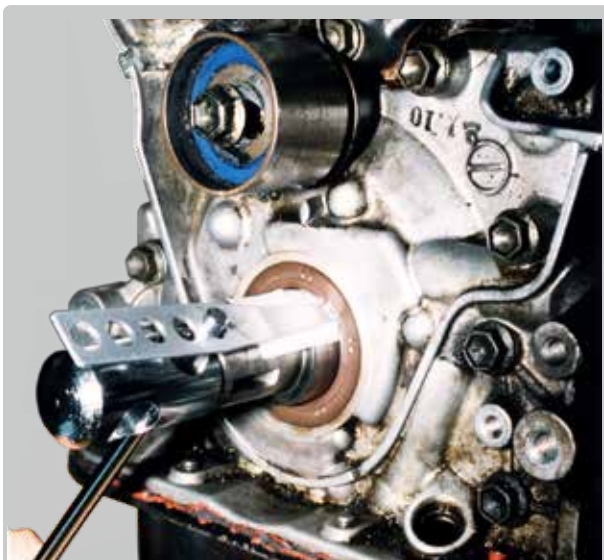
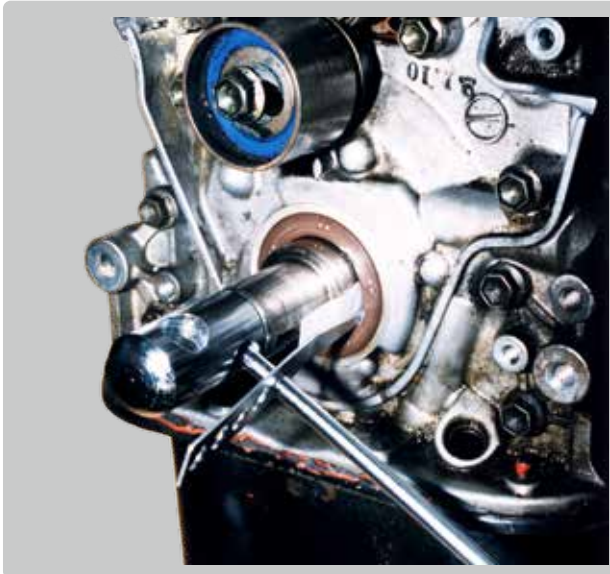
シール形状および取り付け寸法によっては、ヤスリ・ペーパーなどでの修正加工が必要なことがあります。シャフトとシールの隙間が少ない場合は、先端部の肉厚を 0.2mm 程度薄くしてください。

また、シール内外系が狭く、先端部が外径に接触して先端部の長さを短く (0.5mm 程度) するか、フック先端部の角に面を取ってください。

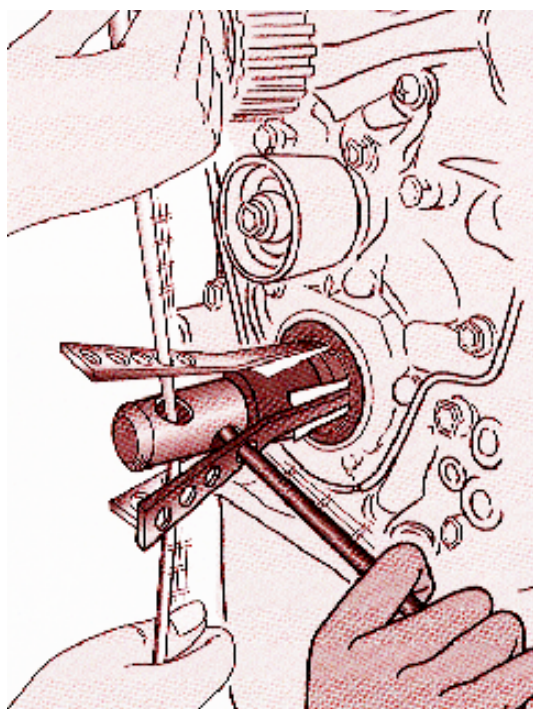
調整加工は、必ずペーパーなどで仕上げ、バリや角が立たないように注意してください。

いずれの場合も、フック先端部の強度は下がりますので、標準のまま使用できるシールには、必ず標準のフックをご使用ください。

使用方法：抜き取り -3



③



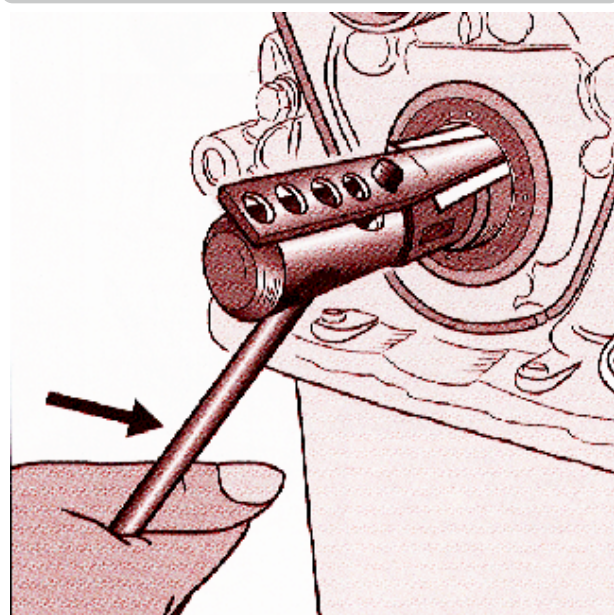
- ③型式：CP-98C-08 品名：ハンドルと  
型式：CP-98C-09 品名：当て金を使用して  
オイルシールを抜き取ります。  
なお当て金は、シャフト先端形状によっては、  
R面または平らな面を選定してご使用ください。  
またハンドルは周囲のスペースによっては、  
シールフックを先端に掛けて押し込むか？  
(左記画像の下側画像)  
当て金の手前にフックを掛けて引き上げるか？  
(左記画像の上側画像)  
作業の行いやすい方法を選択して行ってください。

※なお接着剤や焼き付けなどにより、  
完全に固着したシールを無理に抜こうとすると、  
シール抜きフックの先端が折れる場合があります。  
折れた先端部がエンジン内部に落ちると、  
拾い出す事が困難です。  
このような時には、1ヶ所に無理な力を掛けず、  
左記図のように、シール内径数ヶ所に、  
それぞれ少しずつテンションを掛け、  
徐々にシールを浮き上がらせるように  
作業を行ってください。

使用方法：抜き取り -4



④一部車種のクランクシールなどは  
(トヨタ 7M・日産 SR など)  
プーリーを抜き取ると内径が空いた状態になります。  
その際には、そのまま抜き取り作業を行うと  
フック先端部の爪が内径側に逃げてしまいますので、  
適当なサイズの当て木などで押さえると、  
確実に作業が行えます。



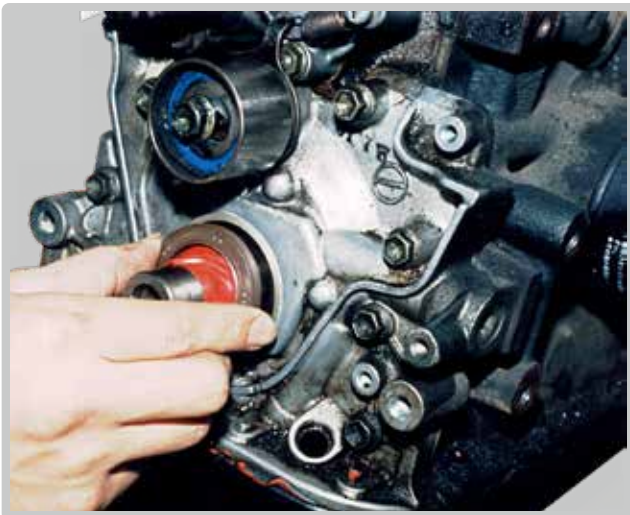
またハンドルを手前に引いたり、押ししたりすることにより  
(テコの原理) シール抜きフックを用いて  
各種シールを抜き取ります



※なおどうしても固くて抜けない時には、  
左記画像の様に、シール抜きフックを 2 本を  
使用して作業を行ってください。

使用方法：装着 -1

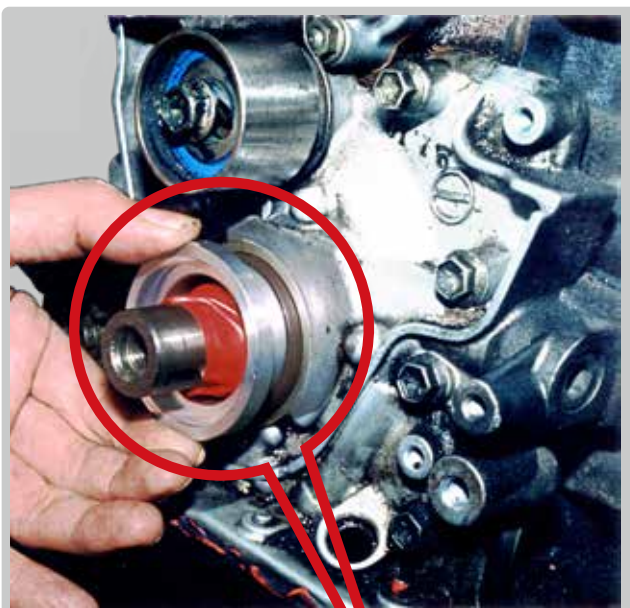
①



※装着トラブル防止のため、  
作業前にアタッチメント先端部にキズがないか？  
必ず確認してから対象シールに対し  
アタッチメントを選定してください。

①シャフトの段差などでシールを傷めつけぬよう、  
テーピングで保護してください。  
シールを装着位置に斜めにならないように  
軽く押し込み位置を合わせます。  
リップがめくれたり、傷めつかないように  
慎重に作業してください。

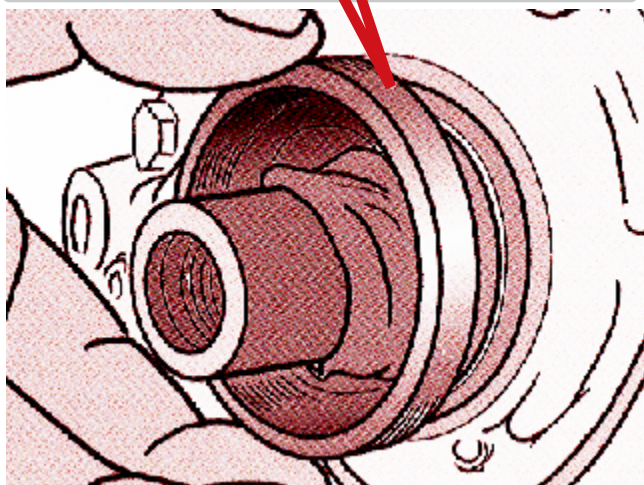
②



②装着アタッチメントは、装着するシール外径より  
必ず小さく、内径リップ部に干渉しないサイズを  
選定してください。

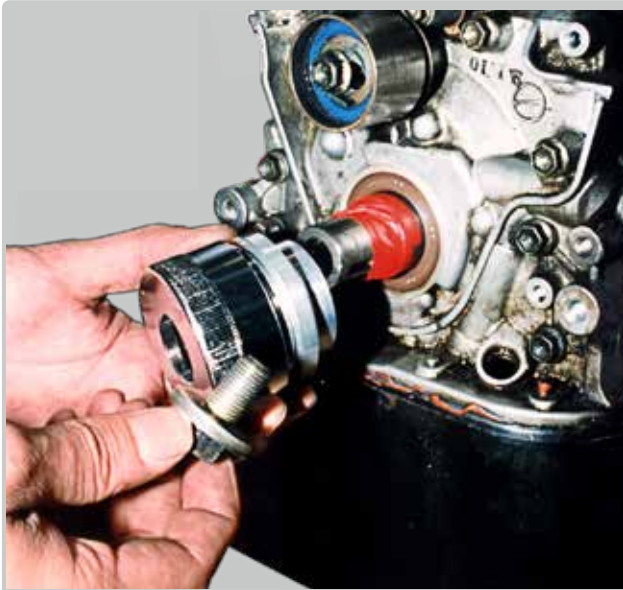
※装着トラブル防止のため、  
作業前に慎重にセット位置を整え、  
斜めに挿入を行さないよう十分に注意してください。

※一部カムシールでは、装着位置外径に面がなく、  
ケースを割る構造のものがああります。



使用方法：装着 -2

③



③装着するオイルシールに対し、  
適合するアタッチメントを当て、  
シャフトの長さによって調整ネジパイプまたは  
延長パイプ(2種類)+キャップ(3種類)などを  
接続します。

④

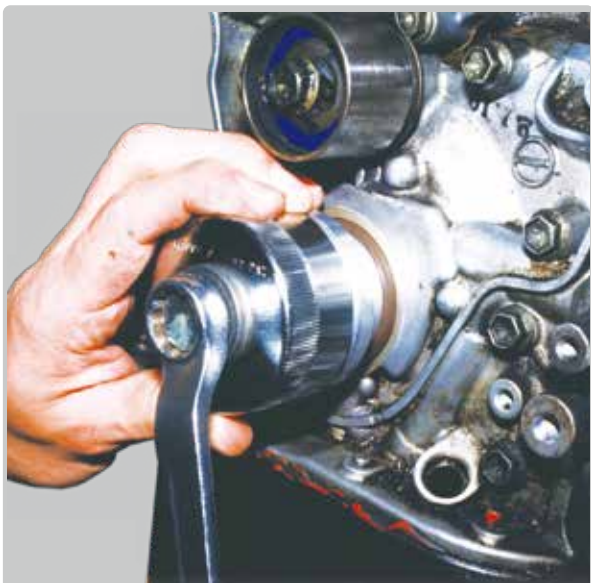


④スペーサーは、シール装着時、  
現車ボルト外径を案内として  
アタッチメントのセンター出しができる補助パーツです。  
左記の図の様にボルトを通し、  
キャップ(標準または調整)に合わせてご使用ください。

※適応は下記の一般的サイズ、7種類のみです。  
それ以外のサイズに使用した際は、  
目視でセンターを合わせて装着してください。  
CP-98C-22A(M20)、-22B(M18)、-22C(M16)、-22D(M14)、  
-22E(M12)、-22F(M10)、-22G(M8)

※型式：CP-98C-06 品名：キャップ(カム用)には  
使用できません。

⑤



⑤現車ボルトを使用して、シールが斜めにならないように  
慎重にシールを装着します。

※なおセンターシャフトにネジがない場合は、  
プラスチックハンマー等を使用してシールを装着して  
ください。

※シール装着時は、純正ボルトではストロークが不足する  
ことがあります。特にカムシール装着の際には、  
ブリー位置決めピンが出ているものがあり、  
シールの完全装着前にキャップが当たってしまう  
可能性があります。その際にはキャップの交換または  
付属延長キャップなどを追加してセットし直すか、  
お手持ちのネジサイズが合う純正より長いボルトを  
使用してください。